

祝日の移動により市役所休業日などが変わります



令和3年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」開催に合わせて、国民の祝日「海の日」「スポーツの日」「山の日」が下記のとおり移動します。祝日や振替休日となった日は、市役所が休業となります。また、例年祝日にあたる日は平日となりますので、ご注意ください。

祝日名	例年	令和3年の特例措置	市役所
海の日	7月の第3月曜日 7月19日(月)	7月22日(木・祝)	休業
スポーツの日	10月の第2月曜日 10月11日(月)	7月23日(金・祝)	
山の日	8月11日(水)	8月8日(日・祝)	
振替休日		8月9日(月・振替)	

- 7月22日・23日、8月8日・9日休業する施設
 - 窓口施設 市役所、藤代庁舎、分庁舎、取手支所、戸頭窓口保健センター
 - 市民施設 市民会館、福祉会館(市民会館隣)、各公民館 ゆうあいプラザ
 - 文化施設 埋蔵文化財センター
 - 福祉施設 社会福祉協議会、総合ボランティア支援センター 福祉交流センター(市役所敷地内)、あけぼの、さくら荘
 - 保育施設 地域子育て支援センター(白山・戸頭・藤代・井野なないろ) とりでファミリー・サポート・センター
 - その他 シルバー人材センター、取手・藤代防犯ステーション

- 7月19日・22日・23日、8月8日・9日休業する施設
 - 市民施設 市民活動支援センター

- 7月19日、8月10日休業する施設
 - 市民施設 取手図書館、ふじしろ図書館、戸頭公民館図書室、取手ウェルネスプラザ(キッズプレイルーム、トレーニングジム)
 - スポーツ施設 藤代スポーツセンター
 - 福祉施設 かたらいの郷

- 7月19日休業する施設
 - スポーツ施設 取手グリーンスポーツセンター

令和3年祝日変更後のカレンダー

日にち	曜日	概要	
7月	19日	月曜日【平日】	
	20日	火曜日	
	21日	水曜日	
	22日	木曜日	海の日※オリンピック開会式前日
	23日	金曜日	スポーツの日※オリンピック開会式
	24日	土曜日	
	25日	日曜日	
26日	月曜日		
8月	6日	金曜日	
	7日	土曜日	
	8日	日曜日	山の日※オリンピック閉会式
	9日	月曜日	振替休日
	10日	火曜日	
	11日	水曜日【平日】	
10月	9日	土曜日	
	10日	日曜日	
	11日	月曜日【平日】	

市役所休業日の各種届出・証明書の発行手続き

- ▶ 届け出などの受付・日曜日の旅券交付
 - ☎ 市民課 ①②…☎内線 1166、③…☎内線 1165
 - ①婚姻届・出生届など 終日、取手庁舎と藤代庁舎で、預かります。
 - ②死亡届 取手庁舎と藤代庁舎の日直が、やすらぎ苑(斎場)などの使用許可書発行の手続きを行います。
時間 8:30 ~ 17:00
 - ③日曜日の旅券交付 8月8日は祝日のため、旅券交付は休止します。
- ▶ 各証明書・市税などの納付
 - ☎ 取手駅前窓口 ☎ 77-8100
 - 取手駅前窓口では、住民票などの各証明書の交付、市税・手数料などの納付、図書返却と貸し出し(予約本のみ)などができます。
時間 10:00 ~ 19:00 (7月21日は休館)

市長 Mayor's column コラム

しゅんすい ーフジャク
永田春水「孔雀の図」



取手市長
藤井信吾

茨城県は横山大観や板谷波山をはじめとする近代美術の巨匠を生んだ土地柄です。この近代美術史上において偉大な業績を残されたのが、明治22(1889)年に北相馬郡相馬町(旧藤代町)に生まれた永田春水です。龍ヶ崎中学校(現龍ヶ崎第一高等学校)、東京美術学校(現東京芸術大学)日本画科を卒業し、文部省美術展覧会(文展)や帝国美術院展覧会(帝展)で目覚ましい活躍をされた方です。

花鳥画を多く制作されましたが、緻密で気品に満ちた作品は見る者の心に響くものがあります。5月に茨城県近代美術館で開催されていた「日本画の150年 明治から現代へ」展では、「春光熙々」が展示されていましたが、その高貴な作品に圧倒されました。

その永田先生の作品を昨年末、市内在住の櫻井紀久様から取手市にご寄贈いただきました。作品は「孔雀の図」(昭和11(1936)年)と題された二曲(昭和一隻)の屏風です。悠然として羽を広げる雄と見守る雌の二羽が描かれていますが、私は泰然自若としたその風情に、見ていて救済されるような気持ちになりました。どのように見立てられるかは、それぞれだと思いますが、見応えのあるすばらしい作品であり、市民にとって大きな財産になることでしょう。

さて、日本画の永田先生は、洋画の服部正一郎先生と「県南美術協会」を設立され、取手市を中心とした茨城県南の美術の振興発展に努力し、後進を育てられました。それも大きな財産として現在の取手の美術の隆盛を支えて

います。6月には地元の美術作家の先生方による取手美術作家展「とりび」が取手ウェルネスプラザで開催されましたが、46回目という歴史に敬意を表したいと思っております。

市では、ホームページ上に「とりでオンライン美術館」を開設し、日本画・洋画・彫刻・工芸のそれぞれの分野の収蔵作品を公開しています。ご鑑賞いただければ幸いです。



孔雀の図